

春あたたかい三月二十九日午後一時より老人憩いの家で長寿大学第一回の修了式を挙行いたしました。

昭和四十七年十一月二十日開校以来、皆様の壮者を凌ぐ熱意と努力と活動によって長寿大学はすばらしい発展を遂げて参りました。その発展を表徴するかの様に満堂は大学生の皆さんであふれました。

国歌斉唱。学事報告の後、三十二名の皆さんに学長より修了証書が一人一人に手渡されました。続いてその努力を讃え、今後の奮闘を望む学長の式辞があり、町長、議長

全員が留年で喜ぶ

春の陽光あふれる長寿大学修了式

教育長殿より祝辞をいただきました。校長の謝辞の後、町民生活長さんの閉会の言葉で修了式はめでたく終わり、懇親会に入りました。懇親会には努力のあとをしのび、楽しい思い出を語りあい、心のとけあつたひとときを送りました。

なお各クラブの受賞者数は次のようになっております。

()内は実施回数

園芸クラブ：10 (5)
家庭科クラブ：22 (16)
ハイキング：4 (2)
民舞クラブ：13 (20)
書道クラブ：11 (21)
囲碁将棋クラブ：5 (11)



発行所 須戸町公民館 知日印刷所
小野良 155
毎月部 11
発行日 昭和49年4月15日



おめでとう — 修了証書授与 —

- 修了証書受領者 氏名
- 内山忠四郎 (渡場町)
 - 青木猪七 (栄町)
 - 五十嵐徳次 (泉町)
 - 田巻六郎 (〃)
 - 真保ツマ (〃)
 - 佐藤五郎 (雁巻)
 - 渡辺重範 (神明町)
 - 吉田源吾 (五番町)
 - 五幣ヤスノ (花見町)
 - 谷川谷三郎 (朝日町)
 - 吉田幸助 (横川浜)
 - 吉田 国吉 (〃)
 - 白井ミサオ (〃)
 - 高野富三郎 (〃)

新 入 生

いまい ゆうすけ

山のけつぷぶにふきのとうが萌えさるころ子どもは心はずませ新しいランドセルの列をつくる

指先だけがちよつぷりのぞくだぶだぶの服はじめて着る朝はにかみながら気をつけの姿勢をしてみせる

教科書のおいが精いっぱい声がへやの中に満ちつづらなびとみに春の光が小さく映りきらきらかがやいている

(下稲荷町 落合昇一氏撮影)

小須戸町に勤務して

前小須戸小学校校長 山名 正平

短い期間であったが、小須戸町に勤務して、善い出にこのころこどもたちか成長してくれたいことを願っている。

小須戸町の町政の中で教育の施策が大きな重みをもっていたことは教育関係者の一人として身を感じた。これからの町公民館の建設等大きなごとの完成を願っている。

「緑と花の運動」も推進されるという。私は去るにあたり特に期待したいことは、文化情懷面の教育指導がもっと町に推進されたいこと、過去小須戸町で実施した文化運動が展開



みなさん よろしく

人事移動

●小須戸小(転入の部)
山名 正平 退職
長谷川ひろみ 東京都へ
川上スミエ 新津第一
鈴木 民治 白根津瀬
中井 保夫 五泉川東
安藤 静子 新津第一
真保啓之助 月湯東
●矢代田小
中村 久子 退職
高橋 哲也 本成寺中
●小須戸中
阿部 政雄 田所小
鈴木 義昭 第五中
渡辺 正子 新開中
本間 進 羽茂高校
●小須戸小(転入の部)
今井 一夫 新津満日
長谷部喜志 新開
木伏 富雄 庄瀬
堀 美代子 栗山
新井田 慶 村松東
石津 昌子 裏館
松井 裕子 大池小倉
松本 秀夫 南魚塩沢中
●矢代田小
相馬 英夫 本成寺中
吉川 牧子 新津第一
鈴木ミチ子 新採用
大岡久美子 五泉
●小須戸中
高宮 伸 大鷲
吉川 十一 新津第五

転任のご挨拶

前矢代田小学校校長 高橋 哲也

思えば昭和四十四年以來矢代田小学校に在任いたしましたこと満五年、この間を通じて公私共に皆さまから大へんお世話になりました。

恵まれた美しい自然環境、教育に深いご理解をいただいたこと、ご援助を惜しまれなかつた地域の皆さま、強くたくましく、更に社会教育を通してご厚誼を賜りました全町の皆さま、そうした温いま情に包まれて、ほんとうに楽しく幸せに過ごさせていただきました。

私の生涯を通じて忘れられない、なつかしい思い出として残ることでありましょう。

新任は微力な私にとりましては大きな責任を感じています。ただただ職務に誠心誠意はげまいたと存じます。どうぞ今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

最後に皆さまのご健康とご発展を心よりお祈りしてご挨拶いたします。



ご利用 ください

電話局より

町に十四セット四十四台のホームテレホンが取得されており、極めて好評を得ており、年々その数が増えています。

その特長は、一、一本で四台まで使えます。二、呼出しは軽快なチャイム。三、切替はカンタン。四、お部屋に電話をまわるときはボタンをポン／＼とさわ呼びにいく必要がありません。五、お部屋どうしの連絡も自由。六、おはよう、またお勉強?、内線呼出しボタンでどうぞ。仲良し家族。七、家中を一度に呼べます。八、家族全員に声をかけたときは一斉呼出しボタンでミニスピーカが各電線のブライバンプよそのお話しは、割込みスイッチで家族話

商業統計は 五月一日です

町に十四セット四十四台のホームテレホンが取得されており、極めて好評を得ており、年々その数が増えています。

その特長は、一、一本で四台まで使えます。二、呼出しは軽快なチャイム。三、切替はカンタン。四、お部屋に電話をまわるときはボタンをポン／＼とさわ呼びにいく必要がありません。五、お部屋どうしの連絡も自由。六、おはよう、またお勉強?、内線呼出しボタンでどうぞ。仲良し家族。七、家中を一度に呼べます。八、家族全員に声をかけたときは一斉呼出しボタンでミニスピーカが各電線のブライバンプよそのお話しは、割込みスイッチで家族話

高司兵部一件(四)

奇特の話 柏 大治

高司兵部の姓は新津にはない。兵部は堂上方に住えるようになって、高塚をもつて姓としたという説がある。高司一族は同じ新津組の古津村組頭六左衛門とは親しいあいだ柄であるから、小屋場村事件については古津村組頭がたつように古津村組頭に依頼した。まづ紛失物の手掛り、ならびに乱暴人の謝罪を要求した。一役買ってでた古津村組頭は、なるべくおんびんに解決すべく、小屋場村組頭赤右衛門と交渉にあつた。(当時、小屋場村に名主なし)しかし、このことは小屋場の赤右衛門も村役人であるから、足をふまれた常吉から一応の事情を聞いて知つていた。常吉は益踊りが中止になることを恐れて紛失物のことや、武士らしい者だとの報告はしてなかつた。

古津村組頭赤右衛門が色々事情を説明しても信用せず、むしろ新津村の若衆の方に非がありとして、今更紛失物や乱暴人の手掛などとは虫のほろ話だと、けんもほろほろの挨拶だ。其の後も依頼したが、なんらの誠意も示さなかつた。これを知つた高司兵部の兄、豊三郎は、とても小屋場村のわからずや組頭くらい相手にしてはいたのでは、うちがあかぬと家にいる弟を小須戸組大庄屋吉岡名兵衛宅へ、同じことをかかけあいにやつた。庄屋は不在であったが、庄屋宅につめていた名主惣代、富惣その他の人達から身

しに加えるとき以外他の部屋には聞かれませぬ。戸電報電話局(二六〇〇番)へどうぞ。

明らかに家族、便利な電話のご用の問い合わせは小須戸電報電話局(二六〇〇番)へどうぞ。

分に疑念をもたれ、新津村百姓がなにを血迷って開かれた。この一部始終を聞いた豊三郎は、其の筋へ訴えれば良いものを、これまた非常に残念に思い、じかに吉岡庄屋宅へ(テコワノカカリ)に及んだ。これは本文の言葉である。

一方、高司兵部もまたまづはななかつた。身分怪しむはななごとぞとばかり、小屋場村組頭赤右衛門宅へかけ、赤彦神社へ奉納の証品などを見せ、紛失物と乱暴人の取調べをうけて、この品を保管しておくと高くに談判におよんで、小屋場村組頭と口論となつた。隣り近所の者が昼間から、組頭の家に喧嘩がはじまつたといふほどとなつた。おりより古津村の組頭六左衛門が、兵部一件のことは入つてきてその場は納まつた。

その際、またも大切の証品を紛失してしまつた。お前のところへあつたらえた、お寺が持つて行ったが、のちで不明となつた。この上は小屋場村を指揮する小須戸組庄屋、吉岡名兵衛に証書付を差出させるはかなしと、善道興野の兄、清兵衛に大刀、脇差をあつらえて、おいの米蔵を若刀に豊三郎の使用人三藏を小者に仕立て、どう／＼と吉岡庄屋宅へりこんだ。

(つづく)

高司兵部の姓は新津にはない。兵部は堂上方に住えるようになって、高塚をもつて姓としたという説がある。高司一族は同じ新津組の古津村組頭六左衛門とは親しいあいだ柄であるから、小屋場村事件については古津村組頭に依頼した。まづ紛失物の手掛り、ならびに乱暴人の謝罪を要求した。一役買ってでた古津村組頭は、なるべくおんびんに解決すべく、小屋場村組頭赤右衛門と交渉にあつた。(当時、小屋場村に名主なし)しかし、このことは小屋場の赤右衛門も村役人であるから、足をふまれた常吉から一応の事情を聞いて知つていた。常吉は益踊りが中止になることを恐れて紛失物のことや、武士らしい者だとの報告はしてなかつた。

古津村組頭赤右衛門が色々事情を説明しても信用せず、むしろ新津村の若衆の方に非がありとして、今更紛失物や乱暴人の手掛などとは虫のほろ話だと、けんもほろほろの挨拶だ。其の後も依頼したが、なんらの誠意も示さなかつた。これを知つた高司兵部の兄、豊三郎は、とても小屋場村のわからずや組頭くらい相手にしてはいたのでは、うちがあかぬと家にいる弟を小須戸組大庄屋吉岡名兵衛宅へ、同じことをかかけあいにやつた。庄屋は不在であったが、庄屋宅につめていた名主惣代、富惣その他の人達から身

町を花で かざりましょう

花と緑を育てる会発足

三月六日発起人を持ちましたこの会も、去る三月二十六日午後、役場会議室で関係者多数のご出席のもとで、設立総会が開かれ、ご熱心な規約の審議、役員選出をいたし、この運動を進めていただきますよう、お願い致します。

本年度は、はじめての年でもありますので、つぎの皆さんの処を重点と致しまして、花いっぱい（緑も含めて）実施していただく予定でありますので、それぞれ環境に即して、活動下さるようお願い致します。

矢代田駅、矢代田小学校、保育園、小須戸中学校、小学校、幼稚園、保育園、横水保育園、役場、諏訪神社、老人憩いの家及び遊園地、なお学校関係ではPTA、父母の会の皆さんの格段のご協力をお願い致します。

また、この外の事業所でも進んで、実施下さることを希望致します。

なおお会いいたしまして、いつでも皆さんからのご相談をお受けする体制（推進委員会）でおりますので、事務局までご連絡下さい。（公民館）

（技術的なこと、種苗のあっせんなど）

「小須戸町、花と緑を育てる会」の役員

顧問（議長）高山 三治
（農協長）岡田 六衛
（商工会）梅津英五郎
会長 五十嵐重雄
副会長 間野 良知
幹事 菅原 朝夫
丸山 敬雄
栗林 毅
推進委員（企画と相談）
柚原 真次
丸山清三郎
大貫 一平
小林 勝

部落集会所 完成す

高ヶ沢公会堂

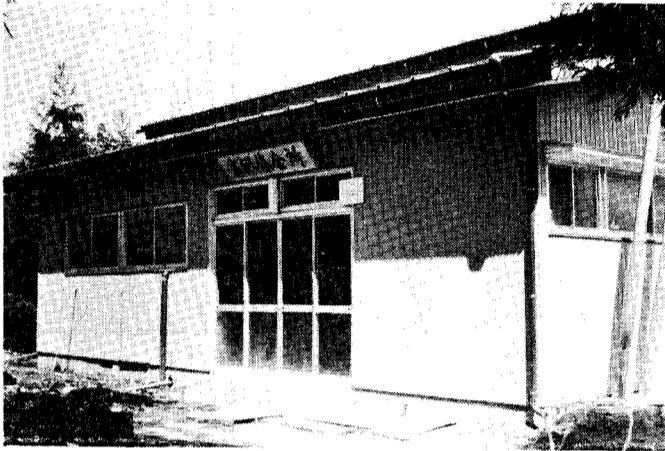
高ヶ沢地区集会所の完成にあたり地区民の一人として感謝の意を表したいと思います。

私たち四十五世帯の地区民は、何年も前から集会所があることが自由利用できる会場がと心から願っておりましたが、このたび地区民はじめ町当局等のご協力により立派な集会所が完成しました。

特に地区の婦人会の皆さんが一生懸命に活躍してくれました。婦人会のお陰で地区全員が力を合わせて心よく寄附金に協力できました。

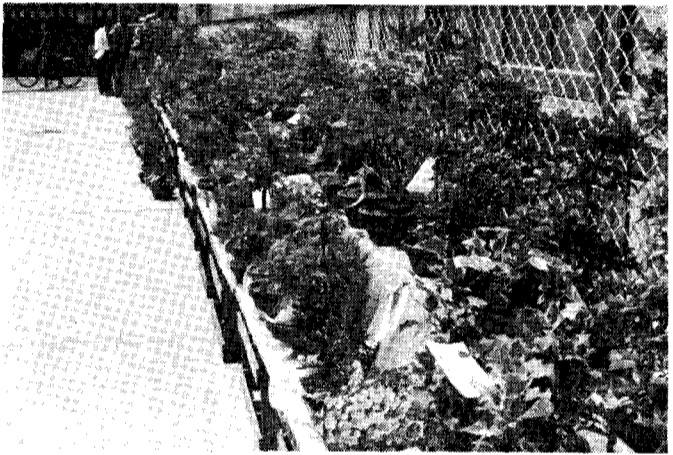
そのことは、自治活動が今後ますます発展と前進につながる役割をはたすことと信じております。

今後各地区でも私たちが集会所が、建設されることを希望します。その際は町当局からの補助金も大巾に増額される



完成した高ヶ沢公会堂

面積 七二五平方メートル
工事費 三〇〇万円
一世帯負担額（一月間）一〇〇〇円で七年間
町補助二七五〇〇〇円
なお使用の時の申込みについては、高ヶ沢の区長に申込みください。（矢代田高ヶ沢常会）



花で町を美しく.....

公民館へ 「一」寄贈

「亡父が町社会教育、特に公民館とは深い縁で結ばれてきたことを想い、その供養の意味にも」と矢部勲さんから金拾万円のご寄附がありました。

ご尊父故藤三郎さんは古い文化協賛時代からの有力な指導者であり、特に公民館報については生みの親、育ての親でもありました。そのご功績に対して何の報酬にもかかわらず、今回ご遺族からの過分なご寄附は本当に感謝に耐えません。厚く御礼を申しあげますと共に、関係者で十分検討の上、これを有効な

会長に 長谷川邦芳さん

東京小須戸会では、今般長谷川会長の病氣が癒え、長谷川邦芳さんに左記のようにより役員改選がなされました。

顧問 佐々木 詞朗
相談役 米田 東吾
会長 矢部 徳平
副会長 長谷川邦芳
伊藤 広次
理事 芳原 重雄
事務長 和泉 芳郎
(敬称略)

時刻改正の お知らせ

四月一日から次のように一部発車時間が変わりますのでご家庭の時刻表を訂正して下さい。

上り
七時二七分発 長岡行
七時二五分発
一八時二五分発
下り
六時〇八分発 新潟行
六時一七分発
改正
七時二五分発 長岡行
七時二七分発
六時〇七分発 新潟行
一七時〇一分発

釣りの 私の趣味

若葉町 岡 謙吾さん

「日曜日は平日よりもむしろ早く目が覚めましてね。夜明けを待つて出かけるんですよ。」

子供の頃から魚釣りが好きで、他に楽しむものはと聞きまして、一に「二にも」つりであるという。この道四十年のベテランである。

暇があるから出かける

郷の浦原地帯。それ以後は上越とか会津方面。昨年発して東京八王寺まで足をのばして「平鮎釣り」。「新年つり初め」とも言うべきか。

「一般に、冬の間は魚は釣れない」と思われていたが、違いますね。また、この季節の釣りに釣れた魚をビタに入れ、

農繁期に発生しやすい 事故と犯罪

農繁期には、農作業で家をあけるためあきすねらいや、子供の火死、火遊びによる火災が多くなり、火遊びによる火災や事故の防止に心がけましょう。

最近、自動車の使用たドロボーが、どんどん農村地帯にもは入り込んでいますから油断はできません。次のことに注意して下さい。

- ・戸締りはガッチリと。
- ・現金の保管は確実に。
- ・隣近所と協力する。
- ・防犯ベルを付ける。
- ・子供の火死事故を防ごう。

毎年県内で五才以下の幼児が五十人前後も火死しております。春の農繁期に、その半分が発生しています。

次のことに注意して、いたましい子供の火死事故を防ぎましょう。

- ・子供から目を離さず、しっかりと見守る。
- ・家の周囲の池、防火用水、用水堀などには、サケ、金網、フタなどをさく。
- ・子供は、しっかりとしたおとながする。
- ・子供の火遊びをやめさせよう。

一昨年は県下で火遊びが原因での火災は、八一件発生しています。農繁期には、特に子供の火遊びによる火災が多くなり、火遊びによる火災の防止に心がけましょう。

火災を防ぎましょう。

- ・ふだんから大人が火の取扱について手本を示し、火の恐ろしさを教えておく。
- ・マッチやライターなどは、子供の手のとどかない所にしまっておく。
- ・火を使った時、寝る前出かける前にもう一度確かめる。

春 光

出雲町 我妻清作

春の陽の温み仄かに匂ひ米ぬ水田の畦にのびる芽の草

春の陽の光りやさしく返しつつ岸辺に寄すささ波の音

なすことなべてうとましまつからの生愛をしまむ五十路を過ぎて

等であります。

農繁期が無事に終わることを祈っております。

小須戸幹部派出所

三月份会報 小須戸俳句同好会

トンネルを出て県境の雪明り
春泥を跳ねて選挙車遠ざかり
剪定の枝跳ねキラリ日の跳ねて
何を来しやズボンに春の土
弓間の夫婦淡雪踏んで去る
浅春や野に夕焼けがひろがりて
落椿流れて先を争はず
吹雪く夜の隣からなる電話かな
しゅみしゅみと雪積る夜の電話かな

香月 秋人
芳蘭 請花
良遊 太浪
碧水 喜雨
喜雨 喜雨
喜雨 喜雨

公売公告

次の財産を公売します。

(1) 公売建物
(2) 旧新保保育所
新保一七四六番地
木造木羽葺二階建
延四四四平方メートル
小須戸三三八七番
モルタル造瓦葺
平屋建
延約三二四平方メートル

(3) 公売方法
一般競争入札(イ)毎に入札とする

(4) 入札及び開札日時
(イ)入札期限 四月三十日午前十時
(ロ)開札日時 四月三十日午前十時

(5) 入札の場所
小須戸町役場行政課

(6) 落札方法
最高額をもって落札者とする

(7) 契約金納期限
契約締結の日

(8) 撤去期限
五月三十一日限り

◎詳しいことは役場行政課へ照会下さい。